

# ユースが行く！！



7月22日に岩手県北上市でプロジェクトDの下草刈りを行いました。プロジェクトDは、2011年の東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島で採取したどんぐりを全国の里親たちが育て、再び元の県に返し、森林再生に繋げていくというプロジェクトです。



宮城県のどんぐり

成長中

## 出会い

リトル・キャッツ・アイ（2003年にこどもエコクラブに登録）でどんぐりを育て始めたのは2012年10月。宮城県のどんぐりを、一緒に届いた「育て方マニュアル」を読みながら植木鉢に植えました。しかし、全く芽が出ず...！とりあえずその植木鉢は置いて、悲しい気持ちになりました。しかしなぜか2年後の2014年5月、宮城県のどんぐりの鉢から突然発芽。この2年間で変わったことといえばお引越しをしたことくらい。なぜ2年越しに芽が出てきたのかはいまだに謎です。

その間、2014年4月には岩手県のどんぐりを別の植木鉢に植えて再挑戦していました。2ヶ月後には発芽。こちらは順調に成長しました。



岩手県のどんぐり

## 別れ

2015年2月には宮城県のどんぐり、11月には岩手県のどんぐりを送り出すことになりました。植木鉢に添え木をし、呼吸ができるように袋をふんわりと被せ、ダンボールに入れて送り出しました。まずは千葉の育苗センターに預けられました。



宮城県のどんぐり



岩手県のどんぐり

## お別れ前

## 再会

今年2018年。岩手県北上市にある三菱製紙株式会社さんの社有地で下草刈りを行うと聞き、初めて参加しました。植樹されたのは昨年5月。現在は30cmほどの小さなものから、150cmの私の身長を超えるものまでありました。三菱製紙さんが環境や森林保全などに関する教育を行っている「エコシステムアカデミー」の板倉校長による指導のもと、植樹にも参加していた秋田県のクラブ「マックスバリュ東北秋田緑の少年団」と、北上市の「イオン江釣子チアーズクラブ」、下草刈りから参加している「黒沢尻北高等学校自然科学部」のみなさんと一緒に作業をしました。



草が生い茂ったどんぐりの森



4月に一度刈っているそうですが、どこにどんぐりの苗があるかわからないくらいに雑草たちに覆われていました。特にクズなどのつる植物が多く、巻きついてしまうため、どんぐりが枯れてしまうこともあるそうです。下草とどんぐりの葉の色が似ていることもあり、まずは目印のリボンをどんぐりの苗に巻きつけてその周りの下草を刈っていきました。立っただけでも汗が噴き出す天気でしたが、こまめに水分をとりつつ、みんな真剣に下草刈りをしていました。かぶれやすいものやトゲのある木も生えていたので気をつけながら作業するのは大変でした。

「どんぐりの森ができるまで、これから少なくとも5年間は下草刈りを続けていかななくてはならない」、と板倉校長がおっしゃっていました。そしてその下草刈りが一番地味だけど大変な作業だそうです。植樹したらそれで終わりだと思ってしまう人も多いのですが、**せっかく植えた木を守るためには下草刈りを続けていくのが大切です。**もっとみんながお手伝いに来てくれると嬉しいなあと思いました。私もまた行かねば...！  
実の状態から育てたどんぐりが成長しているのを見るのは感慨深かったです。もっと大きくなって、どんぐりの森ができるのが楽しみです。

私より大きく育った  
どんぐり



目印のリボンの付いた  
どんぐり